

## 令和6年 第1回建設技術研究開発評価委員会 <議事要旨>

日 時：令和6年1月29日（月）13：00～17：00

場 所：Web 会議

### 議 事：

- ・総合技術開発プロジェクトについて
- ・中間評価 「建設事業各段階の DX による抜本的な労働生産性向上に関する技術開発」
- ・終了時評価「成熟社会に対応した郊外住宅市街地の再生技術の開発」
- ・追跡調査 「防火・避難規定等の合理化による既存建物活用に資する技術開発」

### 配付資料：

- 資料1 総合技術開発プロジェクトについて
- 資料2-1 建設事業各段階の DX による抜本的な労働生産性向上に関する技術開発
- 資料2-2 成熟社会に対応した郊外住宅市街地の再生技術の開発
- 資料2-3 防火・避難規定等の合理化による既存建物活用に資する技術開発

### 議事要旨：

既に実施した計3課題について、中間評価、終了時評価、追跡調査を実施するため、外部有識者会議を開催した。委員の主な意見は下記の通り。

- 建設事業各段階の DX による抜本的な労働生産性向上に関する技術開発
  - ・喫緊の課題である生産性向上に向け、必要性の高い研究プロジェクトである。令和4年度より DX データセンター活用の実証実験が開始される等、社会への成果が着実に始めていることが確認できる。令和6年4月より建設業に適用される時間外労働規制の見直しや、AI等の分野の技術発展のスピードも踏まえ早急に研究成果と実社会への反映に取り組む必要がある。
- 成熟社会に対応した郊外住宅市街地の再生技術の開発
  - ・本研究開発課題は、郊外型集合住宅を中心にオールタウン化している住宅市街地の再生に関わるテーマである。郊外における住宅の空き家問題の解消が喫緊に求められる今、建築ストックの活用、再生技術の進展に資する技術開発やガイドライン等の作成及び公表をしていくことには非常に意義がある。建設資材や労務費の高騰等の中でも、本研究で開発された優れた技術が社会に広く実装されるよう、工夫を行っていくことが必要である。
- 防火・避難規定等の合理化による既存建物活用に資する技術開発
  - ・防火安全と街並み（伝統意匠等を含む）の維持の両立を目指した研究で、具体的な技術上の成果が現地建築物の再生に活かされている。前提となる法改正にも研究成果が貢献している。古い町並みの保存、被災時の復興にも適用可能性があることから、更なる研究成果の普及が期待される。